

平成16年12月14日  
東洋エンジニアリング株式会社

オマーン初のメタノール・プラントの設計業務を受注  
～客先アライアンス・パートナーとしてプロジェクトに参画～

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田豊)は、オマーン・メタノール社(OMC)がソハール工業地区にて計画している、オマーン初の日産3,000トンメタノール・プラントに関わる、ライセンスを含む設計業務を受注いたしました。本プラントには当社のライセンス技術であるMRF-Z<sup>®</sup>合成管と合成ガス製造技術が適用されます。

客先であるOMCは、世界有数のメタノール製造会社であるトリニダード・トバゴ・メタノール・ホールディングス社(略称MHTL)とドイツ・フェロシュタール社、現地のオマーン・メタノール・ホールディング社の3社合併で昨年未設立された会社で、TECは客先のアライアンス・パートナーとして本プロジェクトに参画します。

<受注概要>

客先:

オマーン・メタノール社(Oman Methanol Company L.L.C.: 略称 OMC) (注)

(注)OMCは、メタノール・ホールディングス社(Methanol Holdings (Trinidad) Limited: 略称 MHTL)とフェロシュタール社(MAN Ferrostaal AG)、オマーン・メタノール・ホールディング社(Oman Methanol Holding Company)3社の合併

建設地: ソハール(Sohar)工業地区

対象設備: 日産3,000トン・メタノール・プラント

役務範囲: ライセンス供与、基本設計、詳細設計、工事及び試運転の技術支援

ライセンス:

英国ジョンソンマッセイ(Johnson Matthey: 略称JM)社<低圧メタノール合成プロセス>  
及びTEC <MRF-Z<sup>®</sup>合成管、合成ガス製造プロセス>

プラントの完工予定: 2007年

#### 受注の意義

- \* 今回世界有数のメタノール製造会社である MHTL 社が初めて中東に投資するアライアンス・パートナーとしての受注であり、今後も同社の投資案件への参画が期待されます。
- \* 本プロジェクトはオマーン初のメタノール・プラントで、TEC は自社開発の MRF-Z<sup>®</sup> 合成管を適用し、従来に比べ合成触媒量を 30 - 40%削減できる最新鋭技術により、日産 3,000 トン規模のプラント建設に参画します。
- \* 今回、合成管 1 系列で日産 5,000 トンの実現可能な設計が初めて採用されることとなります。

以上